

平成 29 年 8 月 3 日



名古屋港管理組合

## 「第3次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画」の 取組結果について

本組合では、第3次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画(平成24年度～平成28年度)に基づき、温室効果ガスの排出削減を推進してきました。

第3次実行計画の最終年度である平成28年度の、温室効果ガス総排出量は2,024トン(CO<sub>2</sub>換算値)で、平成23年度(基準年度)比19.5%削減となり、目標である5%削減を達成しました。

なお、詳細については別添資料をご参照ください。

資料1. 第3次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画の取組結果

資料2. 平成28年度温室効果ガス排出量等 集計結果

**【お問合せ先】**

名古屋港管理組合 企画調整室 環境担当  
担当 宮本、柳原  
TEL 052-654-7844

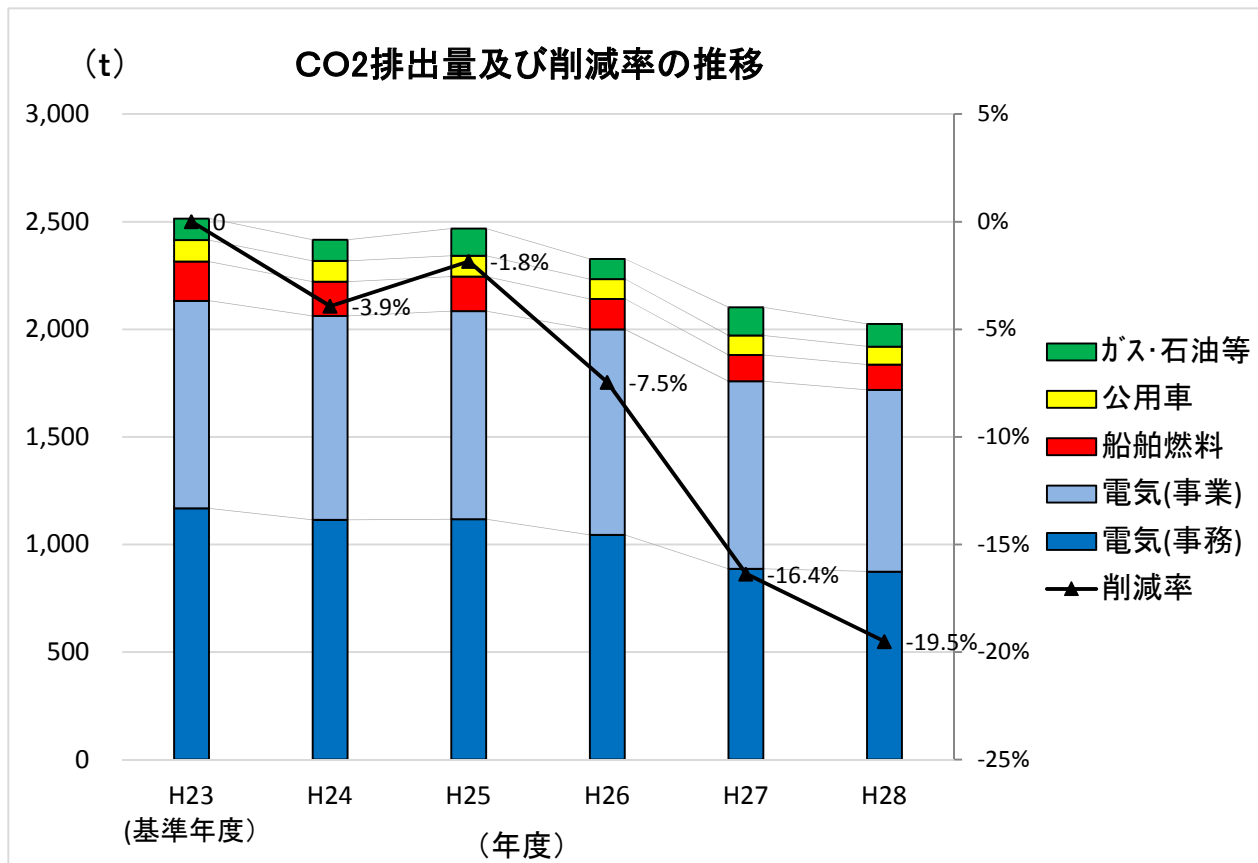
※別添資料の内容で名古屋港のホームページにも掲載いたします。

## 第3次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画の取組結果

平成28年度の温室効果ガス総排出量は、平成23年度(基準年度)比19.5%削減となり、目標である5%削減を達成しました。

## ■ 温室効果ガス総排出量と基準年度の比較(CO2換算値)

項目	単位	H23 (基準年度)	H24	H25	H26	H27	H28
温室効果ガスの 総排出量	t/年	2,515	2,416	2,468	2,327	2,103	2,024
基準年度に対する 削減割合	%	—	-3.9	-1.9	-7.5	-16.4	-19.5



平成28年度 温室効果ガス総排出量等 集計結果

別添資料2

■ 温室効果ガス総排出量と基準年度の比較 (CO2 換算値)

項目	目標 (平成28年度)	単位	平成23年度 (基準年度)	平成28年度	削減率
温室効果ガスの総排出量	基準年度比 5%削減	t/年	2,515	2,024	19.5%削減

■ 環境に配慮した取組の目標及び実績 (太枠内は温室効果ガスの総排出量に係る項目)

項目	細項目	目標 (平成28年度)	種類	単位	平成23年度 (基準年度)	平成28年度	削減率
1 財やサービスの購入・使用に関する取組	(1) 低公害車の購入	「環境物品等の調達の推進を図るための方針」による調達目標 100%		%	購入実績0台	11台 (購入車両11台)	100%達成
	(2) 燃料使用量	公用車 5%削減	ガソリン	k l/年	36	32	▲ 16% (CO2換算)
			軽油	k l/年	2.7	2.4	
			天然ガス	千m <sup>3</sup> /年	2.5	0.1	
	(2) 燃料使用量	船舶 5%削減	ガソリン	l/年	20	2,835	▲ 35% (CO2換算)
軽油			k l/年	70	43		
(3) コピー用紙の使用量	基準年度の数値以下		t/年	13.2	14.3	8%増加	
(4) 用紙類の購入	(コピー用紙) 「環境物品等の調達の推進を図るための方針」による調達目標 基準年度の水準を維持		%	100	100		
		(印刷物等) 「環境物品等の調達の推進を図るための方針」による調達目標 100%	%	98	99		
(5) 環境保全型製品 (エコ商品) の購入率	「環境物品等の調達の推進を図るための方針」による調達目標 100%		%	98	93		
2 建築物の建築、維持管理等に当たっての取組	(1) 工事副産物の再利用	(建設発生土) 基準年度の水準を維持 (コンクリート塊、7/7ファルト・コンクリート塊) 基準年度の水準を維持		%	100	100	
			%	100	100		
3 その他の事務・事業に当たっての温室効果ガスの排出の抑制等への取組	(1) 電気使用量	事務 5%削減		万kWh/年	247	185	▲ 25% (CO2換算)
		事業用施設 5%削減		万kWh/年	204	178	▲ 13% (CO2換算)
	(2) ガス、石油等の燃料使用量	5%削減	重油	k l/年	29	35	21%増加 (CO2換算)
			都市ガス	千m <sup>3</sup> /年	1.9	1.5	
			LPG	m <sup>3</sup> /年	46	292	
			灯油	l/年	40	40	
	(3) ハイドロフルオロカーボン (HFC) などの代替物質を使用した製品等の購入・交換	適切な購入・交換	HFC	kg/年	0.65	0.56	
(4) 電気機械器具からの六ふっ化硫黄 (SF6) の回収・破壊	適切な回収・破壊	SF6	kg/年	0.39	0.00		
(5) 水道使用量	基準年度の数値以下		万m <sup>3</sup> /年	1.9	2.0	8%増加	
(6) 廃棄物の減量化	(廃棄物の量) 基準年度の数値以下 ※ (可燃ごみの量) 基準年度の数値以下 ※		t/年	11	14	(32)%増加	
			t/年	6.9	11.2	(62)%増加	
(7) 紙類のリサイクル率	基準年度の数値より5%向上		%	78	72	7%低下	

※基準年度と算定方法を変更

■ 温室効果ガスの総排出量に係る項目の評価

第3次地球温暖化対策実行計画の計画期間中 (平成24年度～平成28年度) における、温室効果ガスの総排出量に係る項目の削減実績 (CO2換算) については、以下のとおりです。

1 燃料使用量

- 公用車：低公害車への買い替え、エコドライブの推進等により、16%削減。
- 船舶：燃費のよい小型船の稼働増、港務艇の経済運航により、35%削減。

2 電気使用量

- 事務：事務の移管、設備機器の更新 (空調機等)、節電の取組により、25%削減。
- 事業用施設：施設の移管・統廃合、設備機器の更新 (道路照明等) により、13%削減。

3 ガス、石油等の燃料使用量

- 事業用施設：堀川口防潮水門ポンプ所の24時間体制化と設備更新 (平成24年度～) により21%増加。

4 ハイドロフルオロカーボン

- 適切な購入・交換を行った。

5 六ふっ化硫黄

- 事務の移管により、器具の所管が変わった。

■ 今後の取組

第3次地球温暖化対策実行計画の結果を踏まえ、平成29年度に第4次地球温暖化対策実行計画を策定し、一層の温室効果ガス総排出量の削減に向けて取組を推進してまいります。